

彩の国「新しい生活様式」安心宣言

～ 私たちは以下のすべてを遵守することを宣言します ～

1 三密を徹底的に回避します

- ・毎時の換気
- ・一定の数以上の入場制限
(屋外でお待ちいただきます)
- ・受付や更衣室、喫煙所での密集防止
- ・社会的距離の確保

2 感染防止の対策を行います

- ・発熱などの症状がある方の制限
- ・症状のある従業員の出勤制限
- ・手洗いや手指の消毒の徹底、
手の触れる場所の消毒
- ・マスクの着用
- ・共用する物品などの最小化
- ・鼻水・唾液のついたごみは
ビニール袋に入れて密閉

3 安全のための設備にします

- ・入口等に消毒設備、体温計の設置
- ・対面場所の遮蔽
- ・毎時の換気と消毒の徹底
- ・共通タオルの廃止、
ハンドドライヤーの使用中止

4 安心に向けた工夫をします

- ・事前予約の最大限の活用
- ・衣服のこまめな洗濯

5 行いません、行わせません

- ・閉鎖空間での激しい運動や大声

6 極力制限します

- ・一度に休憩する人数の制限
- ・対面での食事や会話の制限

7 重症化リスクに配慮します

- ・高齢者や持病のある方への配慮
(高齢者利用時間の設定など)

8 新しい働き方に向け努力します

- ・在宅勤務やオンライン会議
- ・ローテーション勤務、時差通勤

業種別宣言

9 競技ダンス振興業として次の取組を行います

- ・選手控え室入り口及び一般入場者入り口において、担当者がフェイスシールドを装着の上、非接触型温度計で体温を計測し、リスト（入場者一覧、出場者一覧）のチェックをする。37.5度以上の者は入場・出場させない。
- ・イベント参加者に対し、イベント前2週間における体調変化等を確認する。
- ・競技場と観客の間にテープで空間を仕切り、安全な距離を保つ。
- ・ドアマンをつけ扉を定期的に開放する。
- ・事前に来場の皆様へコロナウイルス対策への協力を呼びかけ、当日配布のプログラムに対策についての詳細を載せる。
- ・競技中も広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける。
- ・更衣室、休憩・休息スペースにおいて、3密を避ける対策を徹底する。
- ・観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応に努める。
- ・「埼玉県LINEコロナお知らせシステム」の登録と、利用を呼びかける
- ・これらの取組のほか、公益財団法人日本スポーツ協会が示す「感染拡大予防ガイドライン」及び当団体が定める「新型コロナウイルス感染症対策 競技会開催ガイドライン」を遵守する。

宣言日： 令和2年 7月14日

名称： 公益社団法人日本ダンス議会埼玉県支局

※詳細はホームページ（<http://www.jdc-dance.org/>）をご覧ください



埼玉県マスコット「コバトン」「さいだまっち」